

こころん だより

2024
冬号
Vol.31



こころん



令和6年12月8日に開催された第26回人権啓発フェスティバル「こころんフェスタ」では、半崎美子さんと土佐市立高岡第一小学校の子どもたちによるコンサートなどが行われ、楽しみながらたくさんの人と一緒に人権について考えることができました。

特集1

病気があっても自分らしく働ける社会へ
～治療と仕事の両立支援の取り組みについて～

特集2

こころん
レポート

困難を抱える子どもの命と心を守る
～「子どもシェルター おるき」の活動～

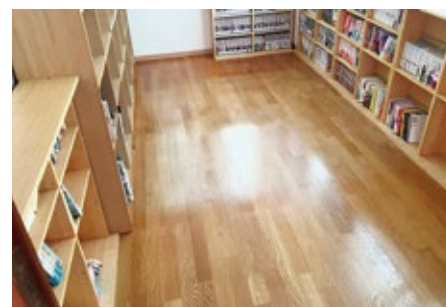
困難を抱える子どもの命と心を守る

～「子どもシェルター おるき」の活動～

私たちの社会には、虐待や貧困など、厳しい環境での生活を強いられている子どもたちがいます。このような子どもたちを一時的に避難させ受け入れる児童福祉施設として、四国初、全国で22番目となる子どもシェルターが2024年3月、高知県内に開所しました。その取り組みを、こころんがレポートします。



◀ お話してくれた人
特定非営利活動法人
子どもシェルター おるき
事務局長 竹村 和花 さん



「おるき」の生活空間。食事はスタッフの手作りで、プライバシーの守られた居室、共有のリビングや図書スペースなどがある。

居場所のない子どもたちの 緊急的な避難場所

子どもシェルターとは、虐待や養育放棄、貧困など様々な理由で居場所を失った子どもたちの緊急避難場所のこと。児童福祉法に基づく施設で、児童相談所からの一時保護委託や自立援助委託、子ども本人からのSOSに対応します。

私たちの暮らす高知県にも、家に帰れない子ども、寝る場所を得るために性産業等に搾取される子ども、誰かとながりたい思いを悪用され被害に遭う子どもがいます。そのような子どもたちに、安心してありのままの自分でいられる避難場所、居場所を提供しようと、「おるき」は立ち上がりました。この名前は、「あなたのそばにいつでもいるよ」と、寄り添い支える気持ちを込めて名付けられています。

特に思春期の支援に着目して

「おるき」は女子専用のシェルターで、定員は6人、期間は2カ月間をめぐりに無料で利用できます。児童相談所の一時保護所と違うのは、15歳から20歳の年齢を受け入れていること、生活ルールが少し緩やかなことです。

一時保護所は幼児から高校生まで性別に関係なく受け入れており、子どもの生命を守るために家庭から引き離すことが最優先されるため、携帯電話の使用や自由な外出ができません。そのことが、特に思春期の子どもの一時保護を難しくしていました。

そこで、「おるき」では一定の条件のもと、日常生活をできるだけ制限しないかたちで18歳から20歳の成年も含めた子どもや若者を預かり、自立に向けた支援を行っています。

子どもは誰もが 幸せになる権利を持っている

子どもたちの中には、傷つけられたり裏切られたりした経験から大人や社会を信じられなくなっている子もいます。その信頼を回復するために、「おるき」ではスタッフが24時間子どもたちと寝食を共にし、彼らの話に耳を傾けます。

また、理不尽でも親の言うことは絶対、自分の本当の気持ちを出せないなど、個人の尊厳や権利を蔑ろにされ続けてきた子どもたちには、「あなたはありのままのあなたとして幸せになる権利があるんだよ」と話をします。そして自分の望む自立ができるよう、「コタン」と呼ばれる無料の子ども担当弁護士が子ども一人ひとりに就き、親等との調整をしながら今後について一緒に考えていくしくみを作っています。

セーフティネットの拡大が必要

子どもの性被害や搾取は女子の方が多い傾向があることから、「おるき」はまず女子専用として開所しましたが、性別にかかわらず避難場所や居場所は必要です。また、18歳で成人になったからといって急に自立ができるわけではありません。施設の拡充と、一時避難から自立援助、アフターフォローまで含めた切れ目ない支援が望まれます。

そして、地域に暮らす私たちにもできることがあります。地域の中で、「あなたを気にかけているよ」というサインの出せる大人がいることはとても大切です。そういったまなざしや声かけが、子どもを守ることにつながるのではないのでしょうか。



発見こころん

子どもの意見を尊重する
「子どもアドボカシー」

子どもが自分の意見や考えを表明できるようにサポートすることこそ言うんだって！



関連図書をご紹介します！
「子どもアドボカシーQ&A
—30の問いからわかる実践ガイド—」
(栄留 里美 編著/明石書店)



「こどもの権利条約」の4つの柱

1989年に国連で採択された「こどもの権利条約」では、次の4つが最も大切な柱とされています。

差別されない

人種や性別、使う言葉、信じている宗教、親がどのような人か、障がいの有無…どのような違いがあっても差別されません。

あなたが一番

大人は、「あなたにとって最もよいことは何か」をいつも考えなければなりません。あなたの人生は、大人の都合だけで決められてよいものではありません。

守られる命

全てのこどもには生きる権利があります。あなたは、すこやかな成長のために、十分な教育や支援を受けることができます。

意見は大切

あなたの意見は、あなたの年齢や成長に応じて、しっかりと尊重されます。

参考：冊子「よくわかる！こどもの権利条約」
(公益財団法人人権教育啓発推進センター)

子どもの尊厳と権利が
大切に尊重されるよう、
みんなで見守り、
行動していきたいね！



◀ 相談専用TEL

特定非営利活動法人
子どもシェルター おるき

事務局TEL/090-1286-7933(電話対応時間は平日10～17時)

厳しい環境にある子どもや家庭を支援してきた医療、福祉、法律の専門家が集まり、2021年12月より子どもシェルター開設を模索。2023年3月に組織をNPO法人化し、2024年3月、四国初となる子どもシェルターを開所した。



第2回 ハートフルセミナー



映画「マイ・ラブ 6つの愛の物語〈日本篇〉」上映会を行いました

実施日：令和6年10月6日(日)14時～15時45分 / 参加者：99名
会場：高知県立人権啓発センター 6階ホール

【ハンセン病回復者の夫とその妻の日常を綴ったドキュメンタリー作品】結婚して50年を迎える二人が出会ったのはハンセン病療養所。笑顔を決やさないカメラ青年・春平さんに当時スタッフだった絹子さんがアプローチし、結婚。療養所を出て社会復帰し、3人の子どもを育てあげる。

戸田ひかる監督からの動画メッセージも上映しました



ふりかえりシートより

- 絹子さんの明るさ、春平さんのやさしさがとても印象的でした。言葉で言いあらわせないほどの経験をされてきたと思います。お二人からいただいたこと、伝えていきたいと思います。出会わせていただいてありがとうございます。
- 愛とは何かを知りたい人はこのドキュメンタリーを観てくださいと薦めたいと思いました。春平さんをハンセン病患者として撮るのではなく、ひとりの人と一組の夫婦として撮ることで、それでも生活の中で時折見せるハンセン病にまつわる影響が、逆にこの方たちの人生の苦しかった面を見る人に直接的にはなく間接的に想像させたのが良かったと思います。
- ハンセン病回復と、その後の見た目という大変なハンディを背負いながらも明るく前向きに生活を綴っているご夫婦の姿に、老化は少しいはいるが自分はもっと生き生きと頑張れることがあるのではと静かなる叱咤激励を頂きました。マジョリティ面が多い立場としても何ができるのか、アンテナをはっていかねばと監督のメッセージから感じました。

じんけんライブラリーで貸出ししています

映画の主人公 春平さんの著書



ボンちゃんは82歳、元気だよ！
-あるハンセン病回復者の物語り-
石山 春平 著 (社会評論社)

第3回 ハートフルセミナー

講演会「多様な性のあり方とは？ —LGBTQ+から社会を考える」を行いました

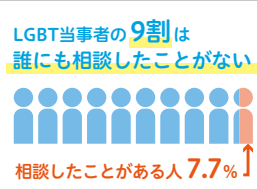
実施日：令和6年10月20日(日)14時～16時 / 参加者：75名
講師：勝又 栄政さん
会場：高知県立人権啓発センター 6階ホール

講師の勝又栄政さんは、女性として生まれましたが、女性として生きること生きづらさを感じて、現在は男性として生活している幡多郡大月町在住の「トランスジェンダー男性」です。講演会では、

- ・女性はあるべきという社会の中で、自分が社会からとりこぼされた存在で誰にも相談できず、生きづらく辛い日々を過ごしていたこと
- ・性は男性・女性の2種類という捉え方でなく、性の多様性を認めることで生きやすい社会になる
- ・生きやすい社会になるために私たちが日常できることとして、「彼女・彼氏はいく？」ではなく、パートナーや恋人という言葉を使うことや男性らしさ女性らしさといったジェンダー規範にとらわれすぎないようにすることが大切

といった、自身の経験から多様な性のあり方についてのお話がありました。

♪ 勝又さんの講演内容から抜粋



調査：三重県男女共同参画センター
宝塚大学看護学部 日高庸晴教授

ALLY(アライ) = 支援者・協力者
LGBTQ当事者・非当事者に限らず
マイノリティが生きやすい環境
づくりをサポートする人々



◀ レインボーフラッグを持つこころん
「こころん」のイラストは、人権啓発推進のために広くご使用いただけます。
(詳細はHPをご覧ください)

ふりかえりシートより

- 当事者の方は苦しいことは多いのだろうと想像はしていましたが、自分が悪いという、罪悪感がそんなに強いということをあらためて知りました。差別的な態度の方々に、働きかけができずにもどかしいことがあったが、少しでも何かできるというなと思う。
- 男女二元をあたりまえと思わない...という時代になったのですね。多様性という言葉の意味をあらためて考えることができました。まだまだ道のりは長いと思いますが、意識を持ち続けていきたいです。まわりの人にも伝えていきたいです!!
- 19才までに大変な人生を生きてこれたのに、冷静に淡々と、講義をされているのに頭が下がりました。今日の講演は私にとってとても衝撃的でした。71才の私にとって、これからできることは限られていると思うけど、今日のお話を心にきざんでおきたいと思っています。

第4回 ハートフルセミナー

講演会「こども六法の時代」を行いました

実施日：令和6年11月10日(日)14時～15時45分 / 参加者：65名
講師：山崎 聡一郎さん
会場：高知県立人権啓発センター 6階ホール

- 発行部数80万部を超えるベストセラー『こども六法』の著者であり教育研究者の山崎聡一郎さんから、
- ・小学校でいじめの被害に遭い、中学校で六法全書と出会った。自分が法律を知っていればいじめ被害から救ってもらえたかもしれない、そんな強い後悔から、自分を守るために法律を学び、『こども六法』を刊行したこと
 - ・子どもには、『こども六法』が身近にあることで、自分自身を守る一助となり、自分の権利を主張する力、客観的・論理的に主張する力を学んで欲しい
 - ・こども基本法のなかの「こどもの意見表明権」を保護するには、【企画する→事前に準備する→意見を聴く→意見を反映する→フィードバックする】ことが大事など、自身の経験を踏まえて、大人に求められる姿勢についての具体的なお話がありました。



ふりかえりシートより

- 子どもの意見を聞く上での方法、勉強になりました。「教育のため」「しつけのため」という言葉は時に暴力的であるという事、なるほどと思いました。
- これからの多様な時代には自他の権利を主張し守るための知識や力が必要であることを確認した。
- 子どもの人権や権利条約、子ども基本法など、大人の側が勉強するべきことが多々あると思った。いろいろな場でそうしたことを広めていく必要がある。
- とても勉強になりました。子どもを取り巻く問題は、そのまま大人の問題だと感じました。

2025年

2月23日(日) 14:00～16:00 ※受付13:30～



令和6年度 人権啓発研修 第5回ハートフルセミナー 参加費無料 定員100名(予約優先)

講演会「インターネット上の誹謗中傷 ～正義を振りかざす「極端な人」の正体～」

データからわかる意外な真実。デジタル時代の情報リテラシーについて学びましょう。

講師 山口 真一さん (国際大学グローバル・コミュニケーション・センター准教授)

会場 高知県立人権啓発センター 6階ホール

講師紹介 1986年生まれ。博士(経済学)。2020年より現職。専門は計量経済学、社会情報学、情報経済論。NHKや日本経済新聞をはじめとして、メディアにも多数出演・掲載。KDDI Foundation Award貢献賞、組織学会高宮賞、情報通信学会論文賞(2回)、電気通信普及財団賞、紀伊國屋じんぶん大賞を受賞。主な著作に『ソーシャルメディア解体全書』(勁草書房)、『正義を振りかざす「極端な人」の正体』(光文社新書)、『炎上とクチコミの経済学』(朝日新聞出版)など。他に、シエンブレ株式会社顧問や複数の政府有識者会議委員等を務める。

専用申込フォーム



お申込み・お問合せは… 公益財団法人 高知県人権啓発センター 〈開所時間〉月～金 8:30～17:15 (祝日を除く)
TEL 088-821-4681 FAX 088-821-4440 Eメール center@kochi-jinken.or.jp

【申込方法】 電話、FAX、申込フォーム(QRコードまたはホームページ)でお申し込みください。
必要な情報：氏名/参加人数/代表者の連絡先(日中に連絡の取れる電話番号かメールアドレス)

じんけんライブラリー情報

じんけんライブラリーでは、人権啓発DVD(VHS)やパネル、図書(専門書からコミックまで幅広く所蔵)の貸出を行っています。

新着DVD紹介

- 交わす言葉 通う心 障害のある人と共に生きる (23分/東映教育映像部)
障害を持つ3人の当事者にお話を聞き、障害のあるなしに関係なく、誰もが平等に自分らしく生きる社会のために大切なことを考えます。
- CASE1 視覚障害(約8分)/CASE2 内部障害(約6分)/CASE3 車いすユーザー(約5分)

- みんな笑顔になる日まで (30分/東映(株) 教育映像部)
「ヤングケアラー」と「若年性認知症」を描いた作品です。【解説書・ワークシートあり】
- カスタマーハラスメント (株)アスパクリエイト
- 第1巻 企業に求められるカスタマーハラスメント対策 (34分)
- 第2巻 公務職場のカスタマーハラスメント対策 (33分)

「じんけんライブラリー検索」はこちら

所蔵図書・DVDの検索ができます。ぜひご利用ください。
http://www.kochi-jinken.or.jp/lib/



スポーツ組織と連携・協力した人権啓発活動事業 人権野球教室を開催しました

実施日：令和6年11月4日（月・振休）／場所：高知県総合運動場 補助グラウンド

県内の5チーム64名の小学生が参加。「じんけん〇×クイズ」で楽しみながら人権について考えた後は、練習や試合を通して、高知ファイティングドッグスの選手やコーチからチームプレーや仲間の大切さについて体験的に学ぶなど、みんな生き生きと取り組んでいました。



アンケートより

○生活の中でいじめをなくしたいと考えた。
○チームのみんながいるからこそ、野球が出来ると思った。
○野球がもっと楽しく感じました。みんなと協力してやったから楽しかったです。

ご利用案内

出張
します

人権研修のための 出前講座（講師派遣料無料）

自治体や地域住民・企業・団体などが実施する様々な研修や学習の場に、講師を派遣します。多彩なテーマやプログラムがあります。



貸出
します

「こころん」の 着ぐるみ・紙芝居（利用無料）

人権について楽しく学び、身近に考えてもらえることを願い、こころんの着ぐるみやオリジナル紙芝居とパペットのセット貸出しを行なっています。

オリジナル紙芝居+パペット ▶



6F

ホール（収容人員 270名 机併用の場合は180名）

講演会、研修等のイベントにご利用ください。

利用時間 9:00～21:00（年末年始を除く）

※改修工事のため令和6年12月18日（水）～令和7年2月19日（水）はホールはご利用いただけません。

基本使用料(平日)			平日時間外	土・日・祝日
午前	午後	全日		
9:00-12:00	13:00-17:00	9:00-17:00	1時間あたり	
8,650円	11,570円	18,210円	4,330円	

● 冷暖房使用料 … 1時間 / 620円 ● 準備・片付けも利用時間に含まれます。 ● Wi-Fiも利用できます。



6F ホール

5F

じんけんライブラリー（利用無料）

人権に関する図書、視聴覚教材、パネルの貸出を無料で行っています。ホームページ内の「じんけんライブラリー検索」では人権課題別の蔵書検索もできます。

利用時間 月曜日～金曜日（祝日・年末年始を除く） 9:00～17:00

蔵書検索 ↓



利用方法 ● 初回ご利用の際に、利用カードを発行します。
● 直接ご来館できない場合は、送付いたします。（送料は利用者負担）

	図書	ビデオ・DVD	パネル	団体図書
貸出限度	5冊以内	3本以内	3セット以内	50冊以内
貸出期間	2週間以内	2週間以内	1ヵ月以内	1ヵ月以内

団体図書貸出 について （こころんブック便）

小・中学校、高等学校ほか、地域や団体、イベント開催などにあわせて、様々な人権問題についての図書の団体貸出を行っています。ご希望の図書について、お気軽にご相談ください。



4F

視聴覚室（利用無料／収容人員 48名）

人権に関する研修等にのみ使用できます。

相談窓口

人権に関する相談窓口・支援機関等一覧はこちらから！



「こころん」は
高知県人権啓発センターの
マスコットキャラクターです
★着ぐるみの貸出もしています



公益財団法人

高知県人権啓発センター

ホームページ

<https://www.kochi-jinken.or.jp>

Webで情報発信中！



●とさでん交通 バス・路面電車「高知城前」で下車・徒歩3～5分

〔事務局〕〒780-0870 高知県高知市本町4丁目1番37号 高知県立人権啓発センター 5階
TEL : 088-821-4681 / FAX : 088-821-4440 / E-Mail : center@kochi-jinken.or.jp
〔開所時間〕月～金 8:30～17:15（祝日・年末年始を除く）